

◆◆◆  
日本介護支援専門員協会より「災害の対応について」  
第6報  
◆◆◆

◆被災地支援のお問い合わせについてのお願い◆

□現在、会員のみなさまより被災地支援についてのお問い合わせを多く頂いております。皆様のお気持ちに深く御礼申し上げます。

□なお、熊本県介護支援専門員協会現地災害対策本部および現地関係者へ、支援内容について直接のお問い合わせはご遠慮くださいますようお願い申し上げます。支援内容についてのお問い合わせは、日本介護支援専門員協会へご連絡下さい。

★介護支援専門員ボランティアの募集について（当協会ホームページ）

[https://www.jcma.or.jp/public/enquete/post\\_680.html](https://www.jcma.or.jp/public/enquete/post_680.html)

★熊本地震 義援金募集のお知らせ（当協会ホームページ）

[http://www.jcma.or.jp/news/association/post\\_677.html](http://www.jcma.or.jp/news/association/post_677.html)

◆感染症の流行予防について◆

□避難所での集団生活では、下痢等の消化器系感染症や、風邪やインフルエンザ等の呼吸器系感染症が流行しやすくなります。避難所に出入りされる方々には、こまめに手洗い、うがいを励行するよう呼びかけましょう。水が出ない場合は、擦り込み式エタノール剤の確保に努め、可能であれば、擦り込み式エタノール剤やウェットティッシュを世帯単位で配布するのが望ましいです。

□発熱・せきなどの症状がある方には、避難所内に風邪・インフルエンザを流行させないために、軽い症状であっても、マスクの着用を呼びかけましょう。長引くときは結核などの恐れもありますので、早めの受診を進めましょう。

□下痢の症状がある方には、脱水にならないよう水分補給を呼びかけましょう。また、周囲に感染を広げないように、手洗いを励行しましょう。

□けがをした場合には、そこから破傷風に感染するおそれがあります。土などで汚れた傷を放置せず、手当てを受けるように医療機関に紹介しましょう。

□下痢や嘔吐物の処理は、ノロウイルス対策のため、その都度適切に行うことが大切です。感染の拡大を防ぐために、下痢や嘔吐物を片付ける際は、直接、それらに手を触れないようにしましょう。